

2年 たいよう	単 元 名	カンジーはかせクイズを作ろう！（教材名「カンジーはかせの大はつめい」）
（教科）国語		

◎第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。（知（1）エ）
 ○漢字クイズ作りを通して、漢字のおもしろさに気づく。
 ○2年生のみんなと一緒にできる活動を設定し、2年生に伝えることを通して、コミュニケーション力の育成を図る。（自立活動）

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

・漢字に関する絵本や辞典を準備し、興味を持って読んだりクイズをつくるヒントにしたりできるようにする。

3. 児童について(略)

4. 単元指導計画（3時間 本時 2 / 3）

時	内容
1	漢字クイズをつくることを知り、漢字合体マシンの問題に取り組む。 漢字の絵本や辞典を読む。
2 本 時	漢字くっつき弓矢の問題に取り組み、問題を作る。
3	問題を完成させ、2年生にクイズをだす。

5. 授業での活用場面

○ねらい 漢字クイズをつくることを通して、楽しく漢字を書いたり読んだりできる。

学習活動	学校図書館の関わり
<p>1. 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">くっつき弓矢クイズに ちょうせんしよう</div> <p>2. 前時にやった問題を楽しむ。</p> <p>3. くっつき弓矢クイズのやり方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとのカードと矢のカードを組合わせてできた熟語を書く。 ・読みを確認する。 <p>4. 問題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合体ボックスクイズと、くっつき弓矢クイズの違いを確認して、どちらの問題をつくるか決める。 ・時間を決めて次の問題に取り組む。 <p>5. 本時の振り返りをする。</p>	<p>○事前に学習内容を学校司書と共有し、必要な図書や教材を準備しておく。</p> <p>○学校司書と一緒に学習することを伝えておく。</p> <p>○国語辞典を用意し、分からない言葉は辞書で調べられるようにする。</p> <p>○既習の漢字が分かるように漢字カードを準備する。</p> <p>○事前に予測される漢字や熟語を準備しておく。</p>

6. 考察（成果や課題等）

<p><u>学校司書との連携について</u></p> <p>本単元を通して、学校司書と連携し授業を行った。具体的には、①資料(図書)の収集 ②読み聞かせなど授業への参加である。</p> <p>①では、漢字に興味を持たせるための絵本を探すために、県立図書館や浜田市立三隅図書館から取り寄せてもらった。そのために、事前の打合わせは1カ月前にスタートし十分な選書の時間を確保した。低学年向けの漢字絵本は種類が少なかったが、今回使用した図書と漢字カードは、漢字の成り立ちや部首、音訓読みなどの学習に有効だと思われるので、本校の図書館にも常備しておきたい。</p> <p>②では、本学級の児童が、担任以外の人と関わりながら学習することを楽しみにして意欲的に学習することにつながった。そのために、授業の流れを学校司書と共有し、どのように支援していくかの打合わせを行った。本時は、言葉を作るためのヒントとなる漢字カードを事前に一緒に選び、児童に提示する役をお願いした。学校司書と連携して授業を行う良さを感じることができた。</p> <p>このように、学校司書との連携は、授業においてとても有効であることが分かった。</p>
--